

株式会社 ネオレックス

会社案内

Corporate Profile

ツクル喜び
役立つシアワセ



NEOREX

自らの手で生み出す製品と、

自分たちのあり方で世界を変える。

「マネされる会社」を目指し、理想を追求し続けます。

Make the world better by being an inspiration.



NEOREX

日本でいちばん大切にしたい会社

真のニーズに応え 独創的な技術をもって 広く世界に貢献する
NEEDS ORIGINALITY EXPANSIVE

NEOREX

NEOREXという社名は、「真のニーズに応え、独創的な技術をもって、広く世界に貢献する」という創業の思いを込め、NEEDS、ORIGINALITY、EXPANSIVEという3つの単語の最初の2文字を取って名付けられました。

NX2030 VISION

「人を幸せにするIT企業」として知られている。
 マネされる会社になっている。

600,000
 kintaimirai Users

80
 NEOREX Members

800,000
 Tablet Time Recorder Users

Yes
 New Business

Yes
 Global Activity

ネオレックスは…

neorex is...

ネオレックスは「マネされる会社」を目指しています。

私たちは非上場の小さな会社です。
 単独で世の中に大きな影響を届けることは難しい。

でも、私たちが素晴らしいサービスをつくり、お客さまを幸せにし、
 素晴らしい会社になって、メンバーがみんな幸せであれば、
 それをマネしてくれる会社が出てくるはず。

私たちの信じる「よい会社」づくりが世の中に認められ、
 多くの会社がそれをマネしてくれるようになれば、
 小さなネオレックスという会社でも、
 世の中に大きな影響を届けることができます。

モノづくりが大好きで、一緒に働く仲間を家族のように大切に、
 急成長や過度な利益を追わず、長期視点で考える。

私たちネオレックスは、大切にしてきた文化や考え方を進化させ続け、
 社会を、世界を、よい方向にリードしていけるような、
 そんな会社になっていきたいと考えています。



CEO 駒井研司 社長 駒井拓央



創立35周年記念イベント
 琵琶湖「ピアンカ」の一泊クルーズ

子供たちも参加して、みんなでお祝い
 しました。私たちはネオレックスを1つ
 の大きな家族のように思っています。

日本でいちばん大切にしたい会社

2017年受賞



kintaimirai

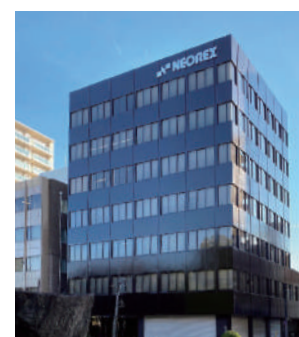
Tablet Time Recorder



成長に見合うチャンスによって、このサイクルが
 どんどん加速していくことをネオレックスは知っています。

質実剛健 × **最先端**

「質実剛健」のもたらす安心感と、「最先端」のワクワク感。
 掛け合わせることで生まれる、相乗効果を目指しています。



NX熱田神宮ビル



名古屋本社



NX神楽坂ビル

クラウド勤怠管理システム キンタイミライ (旧バイバイ タイムカード)

キンタイミライの実績



無理ですって
絶対におっしゃらない
ですよ(笑)

「こんな実現方法はどうですか？」
という姿勢で、解決方法を一緒に
考えてくれます

イケア・ジャパン様

一緒に頑張って懸命に、楽しくプロジェクトに
取り組んでくれる **特別な存在です**

キャメル珈琲様

ちょっと話題になったことでも、必ず調べたり
考えたりしてくれる。そしていつも
レスポンスがとても早い

西武ホールディングス様

西武グループの勤怠管理を良く理解した上で、
「システム用語」ではなく「業務用語」で話してくれます

西武ホールディングス様



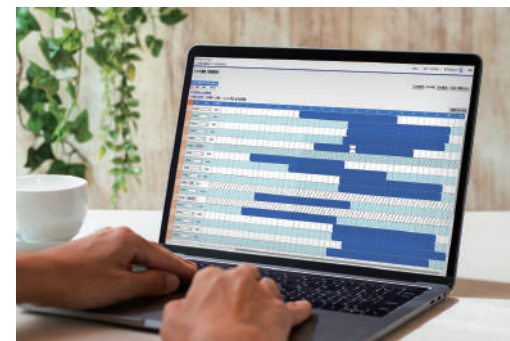
選ばれ続ける理由

カスタマイズ対応

お客様1社1社にあわせた、柔軟なカスタマイズが可能です。
会社ごとに働き方や運用は異なり、その会社独自のルールがあることも少なくありません。
キンタイミライは、細部までカスタマイズできるよう、高度に設計されたシステム。そしてネオ
レックスには、お客様のニーズを汲み取り、最適化してシステムに落とし込む、きめ細やかな
コンサルティングがあります。これらを通じて、他社では実現が難しいような「ニーズにピッ
タリで使いやすいシステム」を実現しています。

技術力

日々、多くの人々にご利用いただいているキンタイミライを、ストレスなく、安定したシステ
ムとできるよう、高度な技術力を活かした工夫を数多く行っています。
例えば、サーバーのレスポンスタイムは平均0.03秒で、アクセスが集中するときでも快適
にシステムを操作できます。これは、専用のオンメモリデータベースを開発することで実現



しました。安定性という点では、キンタイミライに最適なサ
ーバーシステムを自社で構築し、運用しています。その結果、
2003年のサービス開始以来、お客様のデータの消失は
一度もありません。

サポート

システムを長く、便利にご利用いただくため、お客様
1社1社に専任コンサルタントがつく体制としています。
私たちは「顔の見えるサポート」を大切にしています。お客
さまの勤怠管理に、世界で一番詳しい担当者になることが
目標です。

大切にしている考え方

クラウドは「ありがとう」をいただくビジネス

買い取り型のコンピュータシステムを導入する場合、サーバーやソフトウ
ェアライセンスを購入するため、最初に大きな費用を支払います。これは、そ
のシステムが今後活躍してくれることに期待して、「これからよろしくね」と支
払われる費用です。

対してクラウドのサービスでは、システムを利用した対価として毎月の利
用料を支払います。これは、そのシステムの活躍に対して「今月もありがとう」
と支払われる費用です。

ですから私たちクラウドサービス事業者は、この「ありがとう」をたくさん
いただき続けられるよう、がんばれます。

どうしても契約するタイミングに高いモチベーションが発生しやすい買い
取り型のビジネスに対して、お客様が気持ちよく使い続けてくれるよう、モ
チベーションの継続するビジネスが、クラウドサービス事業です。

お客様の満足(ありがとう)が、クラウド事業者の重要な目的(収入)と
一致する。目の前のお客様とまっすぐ向き合い、喜んでもらえるよう努力を
続けることで収益を得られる。クラウドサービス事業は、そんなあたりまで、
幸せなビジネスの仕組みなのです。

メンバーともお客さまとも、ずっとつきあっていける会社

ネオレックスはメンバーを家族と考え、新卒から定年まで、生涯つきあっ
ていける会社でありたいと思っています。一方、私たちが属するIT業界は人
材の流動性が高く、数年ごとに仕事を変える人も少なくありません。

ではユーザーさんから見たとき、数年で転職するつもりの方が開発・提供
するシステムと、一生関わるつもりの方が開発・提供するシステム、どちらが
安心でしょうか。

私たちはメンバー全員で、キンタイミライを自分ごとと捉え、サービスの進
化やお客さま満足度の向上に継続的に取り組んできました。その結果、キン
タイミライを10年以上ご利用いただいているお客さまは全体の3割を超え
るようになりました。

私たちは、お客さまともメンバーとも、短期視点ではなく、永くよい関係を
継続できる会社でありたいと考えています。

※「3,000人以上規模シェア 10年連続No.1」はミック経済研究所(2024年)調べ

勤怠管理システムとは

勤怠管理システムとは、従業員が働いた時間数を記録・自動
計算し、効率よく給与の計算や労働時間の把握を行うためのシ
ステムです。

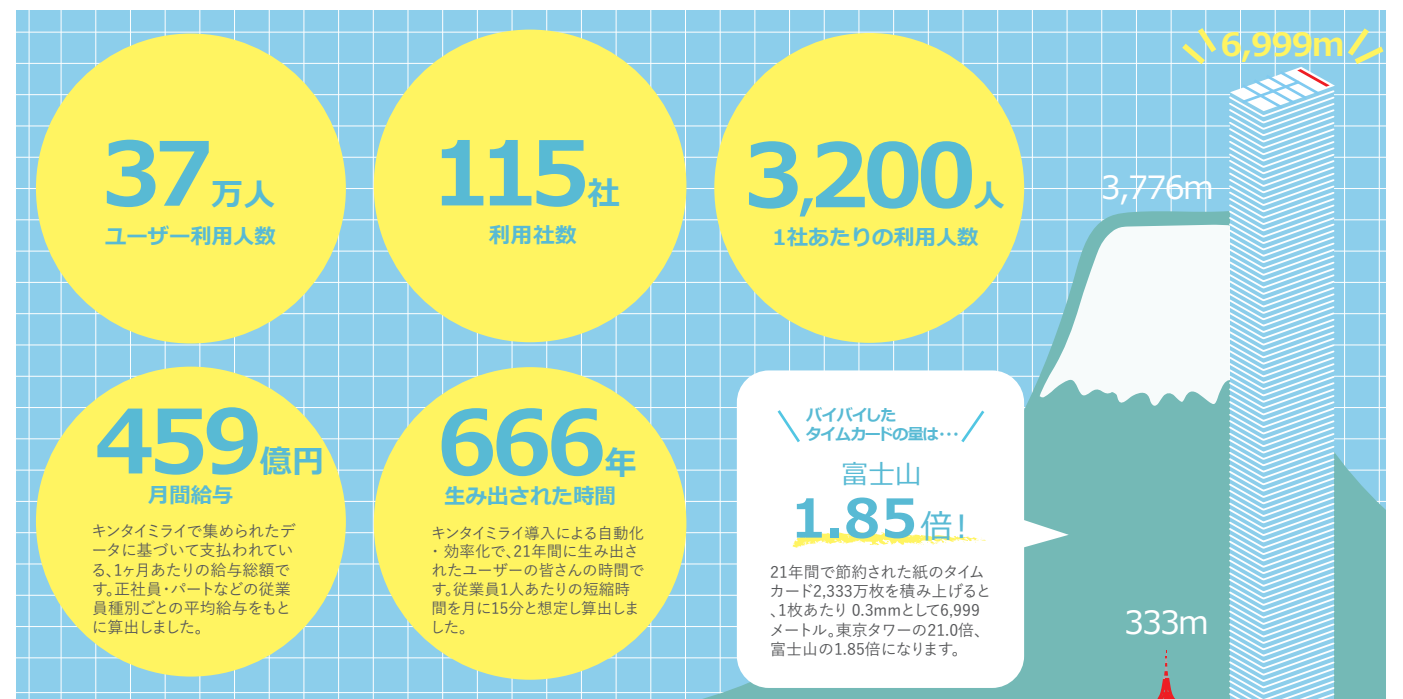
企業は、従業員の健康管理や正しい給与の支払いのため、誰
がいつどれだけ働いたのかといった情報を管理する必要があります(勤怠管理)。以前は、勤怠管理の業務は手作業やタイムカ
ードによるものが一般的でしたが、近年では、記録や集計、デー
タの活用を正確かつ迅速に行うため、システムが利用されるこ
とが多くなってきました。

勤怠管理システムの1つであるキンタイミライでは、勤怠管理

の効率化を行うとともに、1歩ずつ勤怠管理のお手伝いも行
っています。

- ・働きすぎを防止するため、残業時間を予測し、
管理者と従業員本人にお知らせする機能
- ・テレワーク、フレックス勤務など、新しい働き方への対応
- ・お弁当(社食)の注文管理

この他にも、様々な対応を実施しています。
キンタイミライは、お客様1社1社の考え方や働き方を実現す
ることで、働く人々の健康を守り、様々な働き方ができる社会の
実現に貢献しています。



働く人を笑顔にする タブレット タイムレコーダー

タブレット タイムレコーダーは、iPadをタイムレコーダーにするアプリです。従来のタイムレコーダーよりも便利で、楽しく、またクラウド勤怠管理システムよりも安価。特に小規模な事業者にとって使いやすいソリューションとして開発しました。



Tablet Time Recorder

8,500社以上が導入!



企業における給与計算向けの勤務実績の集計をきめ細かな設定で自動化できるなど、プロ向けの実用品としての性能を備えつつ、毎日の写真撮影や各種のグラフ、ビデオメッセージ、天気予報など、従来のタイムレコーダーにはなかった新しい発想の機能を加えることにより、タイムレコーダーにイノベーションを起こすことを目指しています。



写真やグラフで直感把握

日	名前	出勤	退勤	時間	平均	残業	平均
2023年7月	田伏 礼子	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11
	野畑 智也	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11
	大塚 健雄	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11
	今野 有子	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11
	菊池 重貴	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11
	伊藤 慎吾	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11
	上村 隆雄	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11
	田伏 礼子	8:46	17:32	8:46	17:32	8:57	17:11

全体状況は合計データで



思いが伝わるビデオメッセージ



リアルタイムにメールで速報



出入口付近にiPadを設置して利用

目指したのは、タイムレコーダーの再発明

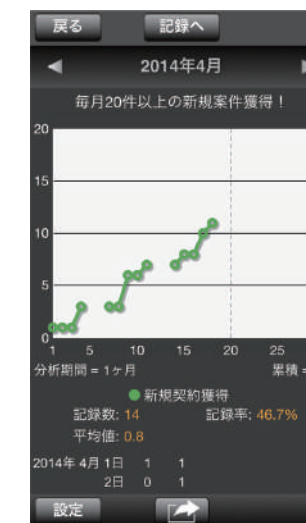
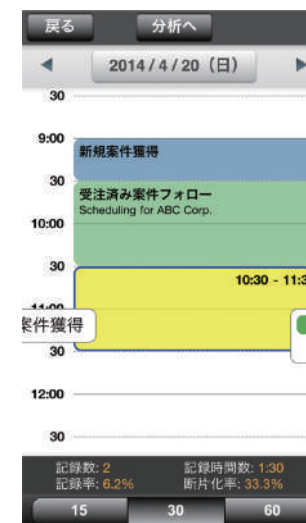
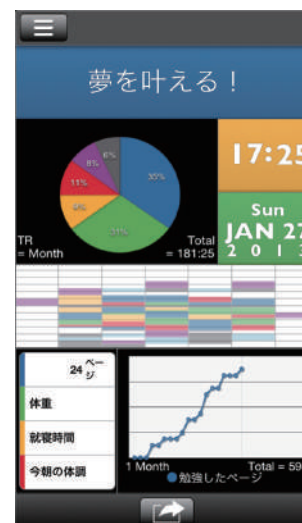


非クラウドの限界への挑戦

近年、日本の企業においてもクラウドサービスが急速に普及しています。私たちネオレックスも、2000年からクラウド方式のサービスを提供しており、クラウドのメリットを熟知しています。しかし一方で、何でもかんでもすべてがクラウドになるべきではないとも考えています。そこでタブレット タイムレコーダーでは、非クラウドの限界に挑戦しています。クラウドサーバーを介さず、月額費用も発生しない方式で、どこまでの機能と利便さを提供できるのか。とても楽しいチャレンジです。

自己管理のためのiPhoneアプリ MyStats

MyStatsは、自己管理のためのアプリです。自分の活動を記録し、グラフなどで分析できます。仕事の効率化、受験勉強、楽器の練習、英会話、ダイエット、トレーニング…。世界中で、様々な人が、様々な目的でMyStatsを利用しています。MyStatsは、人が夢を叶えるお手伝いをするために開発されました。



世界100カ国、27万人以上がダウンロード

メンバーインタビュー

ネオレックス技術陣のツートップ、二人の中村

回路大好き少年からスゴ腕プログラマへ

裕樹 当時で言う「ラジオ少年」というか、「回路大好き少年」でした。きっかけは、学研の科学本とNHKの電子工作番組。好きになりだした頃、カメラとオーディオ好きの叔父さんが大須に連れて行ってきて、半田こてや半田などを買ってくれました。小学校5年生だったと思います。

健児 僕も学研の科学本がきっかけだったかな。同じく5年生の頃。ただ、ブロック崩しなんかのTVゲームが大好きで、「どうやって作るんだろう?」と思っていたのは小学校1年生の頃から。雑誌を読み始めて、回路作りに夢になりました。

裕樹 「初ラ(しょら)」と「ラ製(らせい)」ね(笑)

健児 そう、「初歩のラジオ」と「ラジオの制作」(当時、電子工作に興味ある人がみんな読んでいた雑誌)。雑誌についてくるマスクパターンを基盤の上に貼って、押入れの中に入れて蛍光灯をあてて。でもすぐ時間がかかる。「なかなか焼けんあ」とか言って1時間以上押入れにこもったりして。基盤をエッチングした時はエッチング液の処理に困りました。容器には、「劇薬のため、決められた適切な処理をするように」とみたいなことが書いてあるけど、「適切な処理」が分からなくて(笑)結局ガソリンスタンドに持って行ったら引き取ってもらえて、その後はそのスタンドに通いました。

裕樹 中学に入るとそろそろPCに関心が移っていきました。PCを持っている友達の家に入り浸ったり、大須に行くと店頭でPCを触ったり。当時はなかなかPCを触れないから、やってみたくて、試してみたいことをノートの上にプログラミングしておいて、チャンスがあれば一気に打ち込む! 柔道部員でしたが、練習後に毎日、SHARPのMZが置いてあった「自然科学部」に遊びに行っていました。

健児 で、すぐにBASICが嫌になって、マシン語を始めるんですね。BASICは動きが遅くて、ゲームを作っても全然面白くない。

裕樹 当時マシン語でプログラム書くの大変だったなあ。紙の上でアセンブラでプログラミングし、ハンドアセンブルしてバイナリコードを作ってPCに打ち込んでいくんだよね。メモリの番地を1つ数え間違えたとほとんど全部書き直し、みたいな。それを数千行書いてシューティングゲームなんかを作っていました。ノートにね。主に授業中に(笑)

健児 高校時代はもうプログラミングに夢中で、大学に入る頃には結構色々出来るようになっていました。どこかの会社から依頼を受けて、ちょこちょこっとプログラムを書いたり。そのうちゲーム会社から依頼を受けて、ゲーム開発を始めました。フリーのプログラマを集めてチームを作り、ゲームを丸々1本自分たちだけで開発したこともありましたが(笑)

裕樹 僕は大学に入ってからは、某大手システム会社の系列でアルバイトをしました。主に業務系ソフトの開発で、コード1行いくらという仕事。家に持

ち帰っても良かったので、2千行くらいのプログラムを一晩で書いて、「もう出来たの?」なんて驚かれました。

健児 報酬は随分良かったですね。学生ではあり得ないような収入があった。

裕樹 そう。プログラマにとってはそういう時代だったよね。でもさすがに学業に支障が出てきて…

ネオレックスとの出会い

裕樹 普通の時間に普通に仕事が出来るバイトを探していて、ネオレックスに出会いました。

健児 僕も全く同じです。ネオレックスに来るようになった時期も、裕樹さんとほぼ同じ頃。ここで裕樹さんに出会いました。

裕樹 お互い、なんとなく存在は知っていたよね。名古屋に中村っていうプログラマがいるな、みたいな。

健児 そうですね。苗字一緒だし(笑)

裕樹 ネオレックスは当時、教育委員会からの依頼などで教育用のソフトウェアを開発していました。主に小学生向けで、算数を教えるソフトとか。すでにプログラミングは出来たし、会社は仕事を任せられるので、どんどんプログラムを書きました。

健児 教育委員会の先生達が企画するソフトウェアに、ゲーム的な要素を加えて、処理を高速化してサクサク動くソフトを作ったので、とてもウケが良かったですね。グラフィック系などの当時社内にあったライブラリは、どんどん作り直しちゃってました。

裕樹 一方で当時ネオレックスでは、独自開発のマイクロバーコードを読み取る自社製のバーコードリーダーの開発が始まっていました。社外プレーンがたくさん来ていて、色々な取り組みがされていて。僕も子供の頃以来のハードウェアとの関わりに盛り上がり、会社にズラリと揃っていた「トラギ(雑誌、トランジスタ技術)」を読み漁って勉強しました。この頃からしばらくは半田こてとオシロとアセンブラの日々になりました。

健児 結局熱中して、「普通の時間の普通の仕事」にはならなかったんですね(笑)

ネオレックスへの入社

裕樹 バイト勤務をする中で、ネオレックスに入社することを決めました。理由は色々であったと思いますが、一番の理由は「社長」(※現、会長)です。「基本的に好きにやって」という社長の方針がとても嬉しかったし、何にでもチャレンジしようとする姿勢が好きでした。結局、社長という人そのものに魅力を感じたんだと思います。

健児 僕も同じですね。社長の個性から生まれてきたネオレックスの方針や姿勢がとても良いと思いました。一言で言うと、「頼らず、がんばる」ということでしょうか。新しいことにどんどんチャレンジする。新しいことなんで先人はいなくて、誰も何も

教えてくれない。だからがんばって試行錯誤する。それがスキルアップにつながっていく…というのがネオレックスという会社の取り組みだと思いました。

社長は、とにかく何でもすぐに挑戦しちゃうんですね。普通ならちょっと考えてみようかなみたいなことが、社長の場合、「あ、もうやっている…」みたいな。ここに、「破壊力」のようなものすら感じました(笑)

—— 他社からの熱烈なスカウトなどもある中でネオレックスへの入社を決めた二人。裕樹さんは入社直後の春、ネオレックス初の自社ブランドオリジナルICとなる「NX1」の開発担当となり、量程もある巨大な回路図の設計を行いました。一方の健児さんは、ソニーのPlay Station担当者をも唸らせる知識と熱意を持って「ゲーム開発はしない」という社長の方針を覆し、新卒1年目にして20人以上のチームを率い、ネオレックス最初で最後(?)となるゲームソフト「コスミックレース」を世に出しました。今やネオレックス技術陣の不動の「ツートップ」となった裕樹さんと健児さん。当時二人が魅力を感じたネオレックスと胸井社長の方針やスタンスは、今ではこの二人によって受け継がれ、進化を続けています。国内最高レベルを誇るキンタイミライの信頼性や柔軟性、超高速の動作速度も、こんな二人の中村を中心とした、技術をこよなく愛し、また自立と自由を求めるネオレックスの技術陣が実現しています。



中村裕樹 1992年入社。ネオレックス技術グループリーダー。H/WからS/Wまで、広大な守備範囲を誇る。



中村健児 1993年入社。開発チーム サブリーダー。先の先まで見越した設計に定評を持つ。「バグなし健児」の異名も。

フランス文学からITの世界へ

この人達と同じところにいいのか? という不安

IT業界に飛び込んだきっかけは、「新・電子立国」というNHKの特集でした。ソフトウェアの世界を紹介した番組で、コンピュータは「人の成長を加速する仕組み」であり、そこは「道具が日々発明されていく世界」だと聞いて、何だか感動してしまいました。そして、全く未知のこの世界に挑戦してみたい! と思ったんです。大学の専攻は仏文学だったんですけどね(笑)

しかし、ネオレックスに入社してすぐに困ってしまいました。裕樹さん、健児さんはすでに国内でもトップクラスの技術者。入社間もない別の先輩もすでにバリバリ開発をしていて、「この人達と同じところにいいのか?」と日に日に不安が大きくなっていきました。そんな中である時「テスト」という仕事を担当したことが、僕にとっての大きな転機となりました。

入社2年目、勉強をしよう!

当時のテスト業務は、言ってみれば、「プログラムの書けない人でも出来る仕事」というものでした。プログラマが開発・動作確認したソフトを、色々と触ってみて一応確認するという程度の位置付けです。

実際テストを担当してみると、問題=バグはそれなりに見つかることが出来ました。ソフトウェアを実行し、あれこれと操作をしていると何か問題が見つかります。でもテスト担当を続けていくうちに、「動かせば出る」というだけではいけないのではないかと考えるようになりました。

すごい人達がいる、素敵な会社

武井さんに聞いてみた!

—— ネオレックスには、例えば、どんな人がある?

まず、みんな技術や機械が大好きですね。PCと周辺機器はもちろんのこと、スマートフォン、カメラ、車、バイク、ラジコンなどなど。この人はこれが好き、というよりは、結構、あれもこれもみんなが好き、みたいな感じですよ。

そして、こだわりがすごいですね。カメラ好きがレンズの議論を始めたらキリがないし、車やバイクに自分で手を入れちゃう人も多いし、レースをしていた人もいます。ラジコンで全日本チャンピオンの人もいますし、そのヘッドフォンいくら? って聞いたら、「え、13万」みtainな人もいます(笑)

それからもう1つの特性が、「やってみちゃう、作っちゃう? っ」というところでしょうか。開発チームは、ACアダプタが嫌だと言って社内の一部電源を直流化してしまいましたし、小型PCの活用のためにお膳みtainな専用の台を作った人もいます。そもそも会長は30年位前に数十枚の基盤・回路を手作りしてパソコンを作ったという人だし、最近もLED蛍光灯を自作して社内に設置したりしてますしね。

って、そんな話ばかりかと思うと意外にスポーツ好きが多い。自転車、テニス、ヨット、ラグビーにスキー・スノーボード。スキーはテレマークスキーというちょっとマニアック(?)なタイプの愛好家が多いです。それから音楽好きも多いですね。

そこで少し調べてみると、ソフトウェアのテストにも「技術」があり、様々な考え方や手法があることが分かりました。

勉強をしよう! と決めて、選んだ本は日科技連(日本科学技術連盟)のシリーズ本でした。分厚い、5冊くらいに分かれたものです。平日は時間が取れないので、土日どちらかの午前中は勉強! と決めて、本を持って図書館に通いました。結局この図書館通いは入社2年目から結婚するまで、4年間続きました。

気が付けば、「品質管理チーム」のリーダーに

勉強は、実務にすぐに役立ったというわけでもありませんでした。「学問としては分かるけど…」という内容も多く、どう実務に落としていくのかは自分次第。今思えば、ソフトウェアテストというものの事例情報がまだ十分に普及していない時代だったんですね。

それでも、成果は少しずつ出てきました。きっちりと、一生懸命テストすることによって、プログラマもそれに応えてくれるという手応えを感じるようになったんです。同様の問題の再発を防ぐプログラミングの仕方など、テスト側からの働きかけで検討されるようになりました。この頃には、「なんでこういうバグが出ちゃうの?」と、生意気にプログラマに文句を言っちゃったり(笑)

当時、ネオレックスにやってくる「プログラムの書けない人」は、まずはテストを担当するようになっていました。こういったテスターは、各プログラムについて



佐原孝仁 1998年入社。品質管理チーム リーダー。現在はテストの自動化や加速度的テストなどの確立に取り組んでいる。

に集められるようになりました。こうしてネオレックス内に、「品質管理チーム」というものが生まれたんです。個人的には、技術を用い、体系化したテストを行うという取り組みが認められていった結果かな? と自負しています(笑)

—— コンピュータに関する知識を一切持たずにネオレックスに飛び込んで来た佐原さん。入社当時は大きな不安を感じていたとのことですが、今では第一線で活躍する技術者となりました。そして佐原さんが生み出した「品質管理チーム」は、ネオレックスの中核チームの1つとなっています。そんな佐原さんには、アスリート(?)としてのもう1つの顔も。テレマークスキーや自転車が大好きで、週末早朝にはサイクリングを楽しんでいるとか。1回あたりの所要時間は3時間。走行距離は100km。妻と3人の子供が目覚める頃に、何食わぬ顔で帰宅するのだそうです…。



武井俊輔 2001年入社。コンサルティンググループリーダー。動急管理のシステム化に関する知識と経験は圧倒的で、気が付けば国内トップクラスの専門家に。

まんまですね(笑)

それから最後に、ネオレックスのいくつかのポリシーが個人的には好きです。例えば「指示」という言葉を使わないとか。たとえ社長からバイトに対してであっても、何かをしてもらう時には「指示」ではなく、「依頼」という言葉が使われるんですよ。 これも1つの、こだわりですね。

—— お客様の要望を詳細にインタビューし、キンタイミライをお客様のご要望に沿った状態に組み上げて提供するというコンサルティングチームの仕事は、キンタイミライ事業の要です。その仕事を、キンタイミライ誕生以来ずっと手掛けてきた武井さん。多くのお客様にとっての「Mr. キンタイミライ」という存在です。武井さんのスキルと経験、そして常にお客様の立場に立って一生懸命考えるというスタンスと人柄が、キンタイミライを支える大きな柱の1つとなっています。

杉原 進哉

技術グループ 開発チーム
2011年入社
東京大学 理学部 物理学科



大学では何を？

修士課程では、素粒子物理学を学び、Belle II実験(加速器を用いた実験)のための研究に関わっていました。学問以外では、管弦楽サークルに参加し、チェロを弾いていました。

なぜネオレックスを選んだ？

企画から開発、販売まで全て自分たちで行っている点に魅力を感じました。また、面接時に聞いたLED蛍光灯自作の話が実に楽しそうで、入社すれば面白いことが起きるんじゃないかと思いました。

入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった？

とても楽しく仕事ができる会社でした。日常の仕事でも、上下関係をあまり気にせず意見を出し合うことでより良いモノづくりをしようという雰囲気があり、のびのび仕事ができます。また、仕事内外で時々行われる電子工作も楽しいです。(すっかりハンダ付けがうまくなりました。)

今はどんな仕事をしていますか？

iOSアプリの開発、C#やjavascriptを利用したWebアプリケーションの開発を行っています。

岩本 康平

コンサルティンググループ PSIチーム
2017年入社
京都大学 経済学部 経済経営学科



大学では何を？

経済学部で企業評価・投資判断を勉強していました。

なぜネオレックスを選んだ？

大手ではなく少数精鋭の会社中心に就活をする中、面接担当の経営陣が、ネオレックスメンバーの活躍を全員が主人公であるかのように紹介してくれて、「ここで働きたい!」と感じました。また、IT未経験で入社した先輩も多数と聞き、安心感もありました。

入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった？

年次に関係なく誰しもが主体的に働けるような社風で、入社1ヵ月で社内プロジェクトのリーダーを担当できた際には驚きました。また、自分たちで何でもやるのが好きで、日々新たなことが経験できます。

今はどんな仕事をしていますか？

導入ユニットのリーダーとして、お客様が喜んでくれるシステムの構築、ユニットの雰囲気づくり、などに想像力をフル活用しています。パソコンにじっと向き合う日もあれば、出張をしたり、人とのコミュニケーションがかなり活発な日もあります。(採用、広報...etcなど他にも色々担当)

天筒 智也

技術グループ 開発チーム
2015年入社
名古屋大学 理学部 物理学科



大学では何を？

宇宙物理学を学び、天文衛星の生の観測データに処理を施して、科学的議論が可能な状態にする研究をしていました。趣味では、ゲームを作ってコンテストに応募して、賞をもらったりしていました。

なぜネオレックスを選んだ？

「アプリの機能1つ1つに、ユーザーのためのこんな工夫が込められているんだよ」と熱く語る現CEOと会い、「こんなソフトをつくる会社は、楽しいところに違いない」と確信しました。

入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった？

皆が仕事熱心で、一方で個々人の都合もちゃんと考慮してくれる、大学の研究室のような雰囲気、楽しく開発に取り組んでいます。

今はどんな仕事をしていますか？

タブレット タイムレコーダーを始めとしたアプリのデザイン、コーディング、テストなどを行っています。

川脇 翔伍

コンサルティンググループ PSIチーム
2019年入社
早稲田大学 法学部



大学では何を？

国際法ゼミで国際人道法模擬裁判に出場していました。

なぜネオレックスを選んだ？

「今何が出来るか」よりも「これから何が出来るようになるか」が重要と聞き、IT未経験の自分が入社後にスキルを身につけていく姿を想像してワクワクしたからです。

入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった？

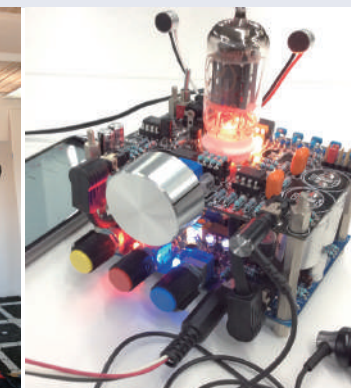
様々な分野の強みを持った人が集まる、まさに少数精鋭な会社でした。困ったときの相談もしやすいので、IT未経験だった自分も学びながら仕事できています。

今はどんな仕事をしていますか？

主に、キンタイミライのカスタマイズを担当しています。お客さまから真のニーズを引き出し、ベストなご提案ができるよう常に心掛けています。社内では、キンタイミライを自社の勤怠管理に活用するプロジェクトに入社4ヶ月目から関わっており、残業や年次有給休暇の申請フローを改善しました。その他、新卒採用、Web広告運用、新人研修など幅広く携わっています。

色々つくっちゃう

ネオレックスのメンバーは、モノづくりが大好きです。LED蛍光灯、クイズ用早押しピンポン、声を掛けられると音量が下がるヘッドホンアンプ、部屋のCO2濃度に応じて自動換気するシステムなど。ネットワークの配線工事や本社の改装さえも自分たちでやってみました。自分たちでやると何より楽しいです。



仕事以外でも活躍

プライベートでも活躍している人が沢山います。ラジコンレースで3度日本チャンピオン、石垣島-台湾間のヨットレース優勝、ロボカップで世界大会出場、オーケストラ所属のチェロ奏者、目隠しルービックキューブ、書道師範etc. この他にもスポーツから芸術まで幅広い分野で活躍し、好きなことに熱中しています。

安心して結婚できるように

お金が障壁にならないように、との願いから配偶者手当が35,000円、子ども1人につき子ども手当が最大25,000円、毎月支給されます。この他にも産休・育休の取得や時短勤務も可能なため、安心して結婚することができます。



全員で朝礼

創業以来続く朝礼ではメンバー全員が集まり、それぞれが今日何をするかを発信します。オンラインで実施しているため、離れて働くメンバーとも顔を合わせる場になっています。



若い時から活躍

入社1年目でシステム導入の主担当になった人、社内プロジェクトのリーダーになった人。ネオレックスでは、やる気と力のある人にどんどん仕事を任せます。でも、任せきりにはしません。仕事はチームですもの。「部下」「指示」「やらせる」とは言わず、社長から新人へも「依頼」と表現する。そんな雰囲気の中、若手がイキイキと活躍しています。

バラエティ豊かな活動

有志による楽しい活動が沢山。ヨット部、テニス部、ボードゲーム部、資格取得に励む「合格へ続く道」など... また、最新のIT技術や学生時代の研究、趣味の話題などを共有する社内勉強会を月に一度開催しています。



飲み会も支援

社内外での決起会や懇親会等の際には、1人あたり1回2,000円が支援されます。仕事をよりよく進められるようにすると同時に、メンバーに楽しみを提供する、そんな思いが込められています。



歴史の町から

旧東海道は本社のすぐ横。熱田神宮は本社から徒歩5分、NX熱田神宮ビルの目の前。幼少時代の徳川家康が住んでいた場所、源頼朝が生まれた場所もすぐ近く。そんな歴史の町で、時代の先端を行くITビジネスに取り組んでいます。



会社概要

社名	株式会社ネオレックス
事業内容	独自システム・アプリケーションの企画・設計・開発・販売
社長・CEO	駒井 拓央・駒井 研司
資本金	5,000万円
所在地	名古屋本社 名古屋市熱田区伝馬1-4-25 ネオレックスビル TEL: 052-681-2121 FAX: 052-681-2129 熱田神宮オフィス 名古屋市熱田区神宮3-8-20 NX熱田神宮ビル 神楽坂ショールーム 東京都新宿区神楽坂6-39-4 NX神楽坂ビル フリーダイヤル: 0120-200-681
Email	info@neorex.co.jp
URL	https://www.neorex.co.jp
主な出身校	名古屋大学/京都大学/愛知淑徳大学/名古屋工業大学/信州大学/名城大学/中京大学/ 東京大学/東京理科大学/名古屋市立大学/南山大学/愛知学院大学/愛知県立大学/ 金沢大学/金城学院大学/静岡大学/東京学芸大学/北京大学/北京外国語大学/ 三重大学/早稲田大学/Universidade Federal do Rio Grande do Norte 他(出身者の多い順)

沿革

1987年 6月	株式会社ネオレックス設立
1988年 5月	洗濯機製造工場向け自動部品供給システム開発・施工
1991年 9月	大学向け教室内全PC画面モニターシステム開発・施工
1992年 4月	マイクロバーコード開発
7月	東京事務所開設
12月	日本ソフトウェア大賞受賞
1994年 2月	アメリカでマイクロバーコードの特許成立(その後日本を含めて7ヶ国で特許取得)
1995年 1月	マイクロバーコード、中小企業優秀新技術・新製品賞受賞
1997年 6月	ネオレックスビル完成
9月	多店舗飲食チェーン向け受発注システム納入開始
2000年 6月	関連会社、株式会社ネオセルラー設立
2003年 10月	バイバイ タイムカード(現:キンタイミライ)提供開始
2006年 4月	バイバイ タイムカード、西武グループ様で採用される
2008年 1月	バイバイ タイムカード、「ASP・SaaS・ICT アウトソーシングアワード 2007/2008」 バックオフィスアプリケーション分野でグランプリ受賞
2009年 10月	バイバイ タイムカード、SPOTY 2009受賞(ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー 2009)
2011年 4月	自己管理のためのiPhoneアプリ「MyStats」提供開始
2015年 7月	タブレット タイムレコーダー提供開始
9月	タブレット タイムレコーダー、グッドデザイン賞受賞
2016年 4月	タブレット タイムレコーダー、中小企業優秀新技術・新製品賞受賞
2017年 3月	本社拡張 「日本でいちばん大切にしたい会社」受賞
2019年 6月	新社屋「NX熱田神宮ビル」稼働
2020年 6月	名古屋大学内に「NEOREX PLACE」完成 新社屋「NX神楽坂ビル」稼働
2021年 3月	創業者、駒井俊之著書「独立志向」発刊
2023年 8月	バイバイ タイムカードを「キンタイミライ」へリブランディング
2024年 4月	キンタイミライ、10年連続大規模市場国内トップシェアに 名古屋大学内に「NEOREX Pods」完成

